

## 決算補足説明資料

# 2024年度 3-11月期 業績概要

### 注意事項

- 2024年度より、これまでシステムエンジニアリング事業に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナ関連の情報を、モーションコントロール事業に移行するセグメント区分の見直しを行っています。これにより、2024年度の数値は変更後の情報に組み替えた上で算出しています。なお、2023年度の数値についても変更後の情報にて表示しています。（P21参照）
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2024年3月1日～2024年11月30日)

## 当決算におけるポイント（サマリー）

---

### ➤ 2024年度 3-11月期 実績

➔ **売上収益** … 前年同期比▲7.2%

- ・ 高水準な受注残に支えられた前年同期に比べ、モーションコントロールを中心に減収

➔ **営業利益** … 前年同期比▲26.3%

- ・ 売上減少に伴う影響を大きく受け、間接費は抑制したものの減益

➔ **税引前利益** … 前年同期比+30.1%

**親会社の所有者に帰属する四半期利益** … 前年同期比+30.7%

- ・ 持分法適用関連会社の一部の株式譲渡により増益

➔ **第3四半期 受注** … 前年同期比▲6%・前四半期比▲5%

- ・ 納期の短期化による一時的な発注調整などにより減少

### ➤ 2024年度 通期 見通し

- ・ 韓国における半導体関連の設備投資の調整影響や、米国大統領選挙に伴う設備投資の一時的な様子見の動きにより受注が想定を下回ったことから、通期業績見通しを下方修正
- ・ 足元の為替状況を考慮し24年度4Qの平均為替レートを一部円安方向に見直し
- ・ 24年4月5日公表の配当金予想（一株当たり年間配当68円）は据え置き

## 1. 2024年度 3-11月期 連結業績

- 2024年度 3-11月期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2024年度 3Qにおける取り組み

## 2. 2024年度 通期 連結業績見通し

- 2024年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析

## 3. 参考資料

- セグメント区分変更による組替表示
- 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度
- B/S 構造の推移
- 売上収益・営業利益推移
- 四半期売上収益推移
- 四半期受注推移

# セグメント別事業概要

## モーションコントロール

### 【主要製品】

- ・ ACサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ PMモータ



## ロボット

### 【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
  - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
  - FPD搬送・ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット



## システム エンジニアリング

### 【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
  - ・ 上下水道用電気計装システム
- など



## その他

- ・ 物流サービス

など

## 1. 2024年度 3-11月期 連結業績

## 2024年度 3-11月期 実績

- ・ 高水準な受注残に支えられた前年同期に比べ減収
- ・ 営業利益は売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け、間接費を抑制したものの減益
- ・ 税引前利益,四半期利益は持分法適用関連会社の一部の株式譲渡により増益

	2024年度	2023年度	前年同期比	
	3-11月期 実績	3-11月期 実績	増減額	増減率
売上収益	3,937億円	4,243億円	▲306億円	▲7.2%
営業利益	343億円	465億円	▲122億円	▲26.3%
税引前利益	630億円	484億円	+146億円	+30.1%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	455億円	348億円	+107億円	+30.7%

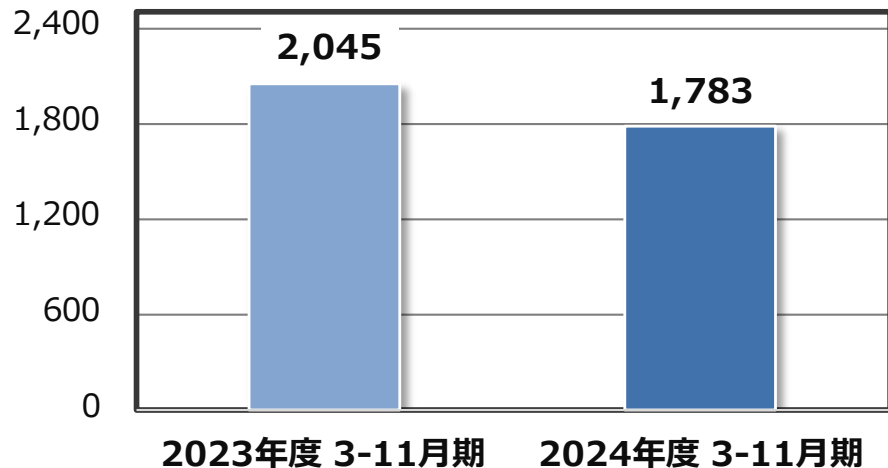
## 2024年度 3-11月期 実績 (セグメント別)

- ・ モーションコントロールは、ACサーボを中心に売上減の影響を大きく受け減益
- ・ ロボットは、若干の増収も生産稼働率の低下などにより減益
- ・ システムエンジニアリングは、主力事業の売上拡大と事業構造改革の効果により大幅な増益

	2024年度 3-11月期 実績		2023年度 3-11月期 実績		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
<b>売上収益</b>	<b>3,937</b>		4,243		<b>▲306</b>	<b>▲7.2%</b>
モーションコントロール	1,783		2,045		<b>▲262</b>	<b>▲12.8%</b>
ロボット	1,705		1,669		<b>+36</b>	<b>+2.1%</b>
システムエンジニアリング	278		337		<b>▲59</b>	<b>▲17.6%</b>
その他	171		192		<b>▲21</b>	<b>▲10.9%</b>
<b>営業利益</b>	<b>343</b>	<b>8.7%</b>	465	11.0%	<b>▲122</b>	<b>▲26.3%</b>
モーションコントロール	160	9.0%	286	14.0%	<b>▲126</b>	<b>▲44.0%</b>
ロボット	161	9.5%	186	11.1%	<b>▲24</b>	<b>▲13.2%</b>
システムエンジニアリング	30	10.9%	16	4.7%	<b>+15</b>	<b>+92.5%</b>
その他	10	6.1%	1	0.4%	<b>+10</b>	-
消去または全社	<b>▲19</b>	-	<b>▲22</b>	-	<b>+4</b>	-

# 主要事業の概要 モーションコントロール

### 売上収益(億円)



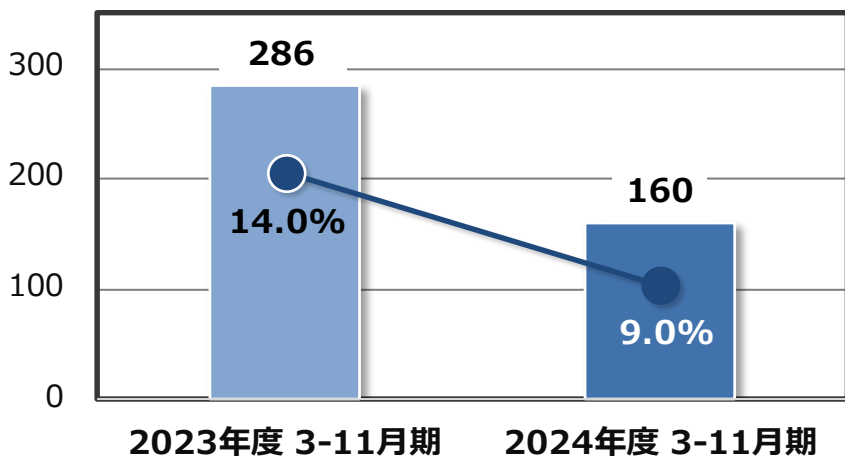
### 【売上収益】

- ACサーボは米州・アジアで半導体向けが緩やかに回復も日本・中国における市場の回復遅延により減収
- インバータは太陽光発電用パワーコンディショナの販売が堅調に推移したものの、高水準な受注残に支えられた前年同期に比べ減収

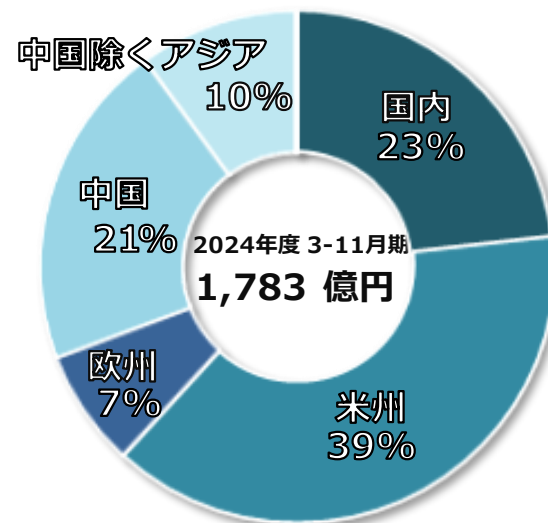
### 【営業利益】

- 経費の抑制や付加価値の改善がプラスに寄与も、売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け減益

### 営業利益(億円)・営業利益率(%)



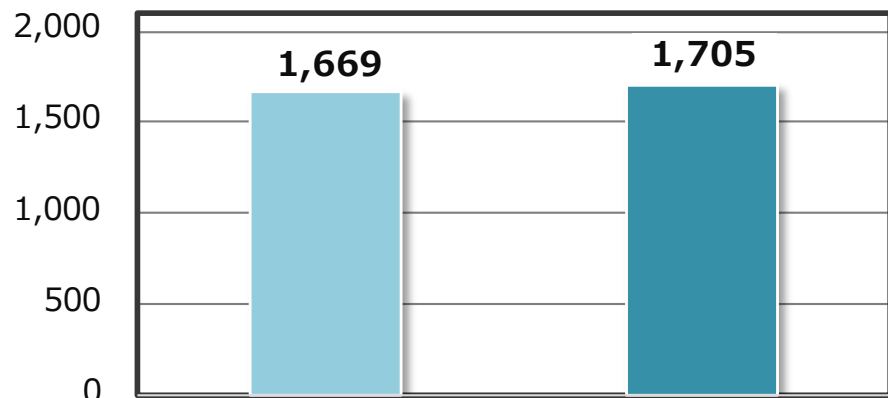
### 所在地別売上収益構成比





# 主要事業の概要 ロボット

### 売上収益(億円)



2023年度 3-11月期    2024年度 3-11月期

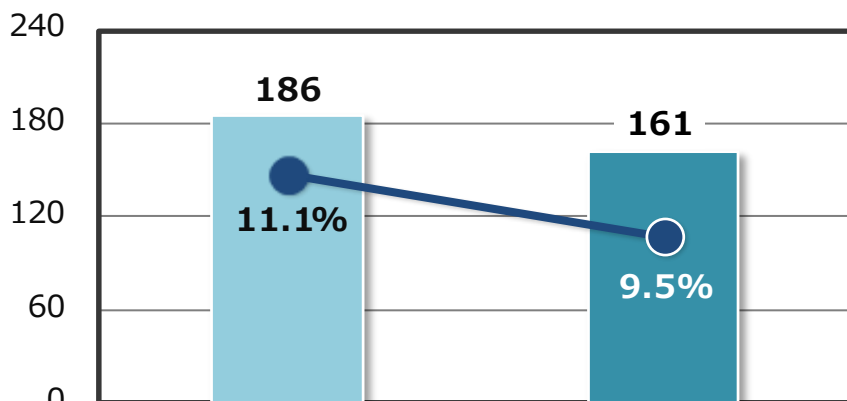
### 【売上収益】

- 日本と欧州で自動車関連の売上が増加
- 半導体ウェハ搬送ロボットの販売が堅調に推移
- 一般産業分野における設備投資の需要は伸び悩むも、若干の増収

### 【営業利益】

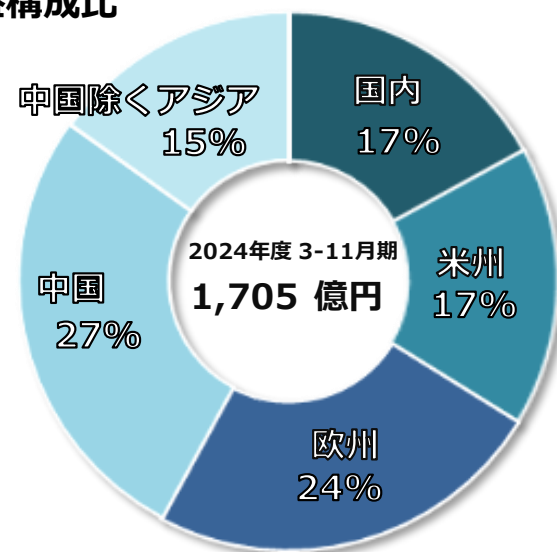
- 生産稼働率の低下などにより減益

### 営業利益(億円)・営業利益率(%)



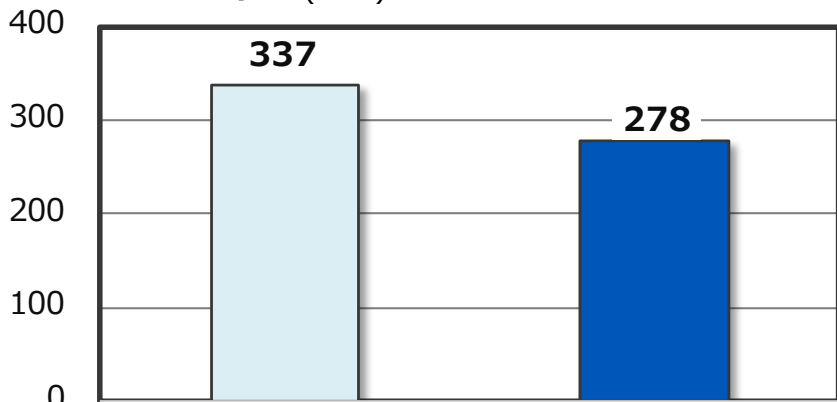
2023年度 3-11月期    2024年度 3-11月期

### 所在地別売上収益構成比



# 主要事業の概要 システムエンジニアリング

売上収益(億円)



2023年度 3-11月期 2024年度 3-11月期

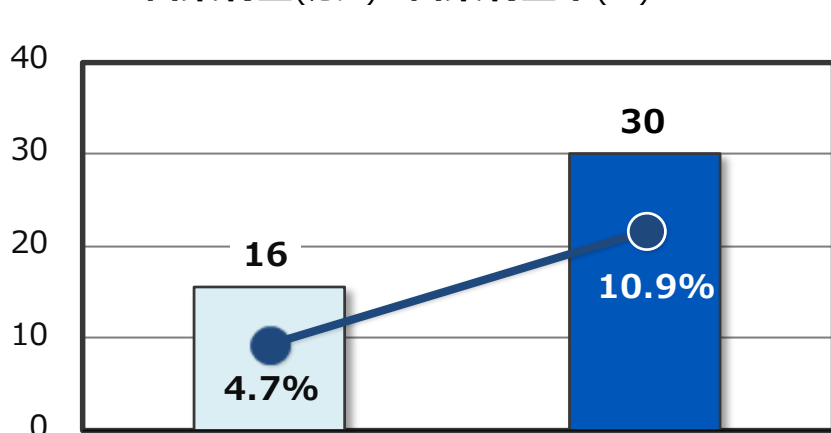
## 【売上収益】

- 主力の鉄鋼プラントや港湾クレーン、社会システム向けの販売が拡大
- 前年度下期の大型風力発電関連の子会社売却影響により減収

## 【営業利益】

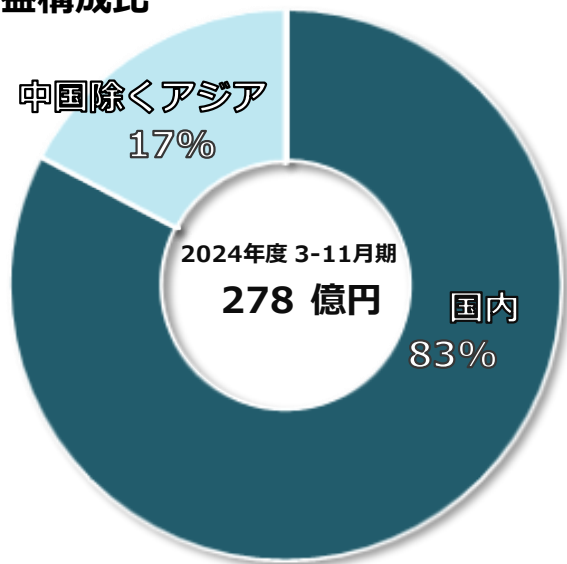
- 主力事業の売上増加に加え、事業構造改革の効果により大幅な増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)



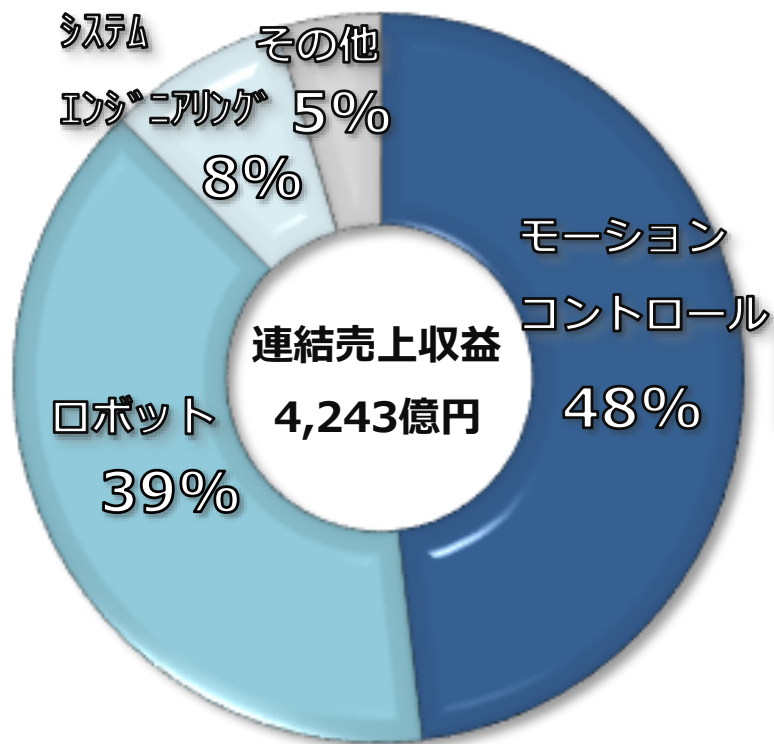
2023年度 3-11月期 2024年度 3-11月期

所在地別売上収益構成比

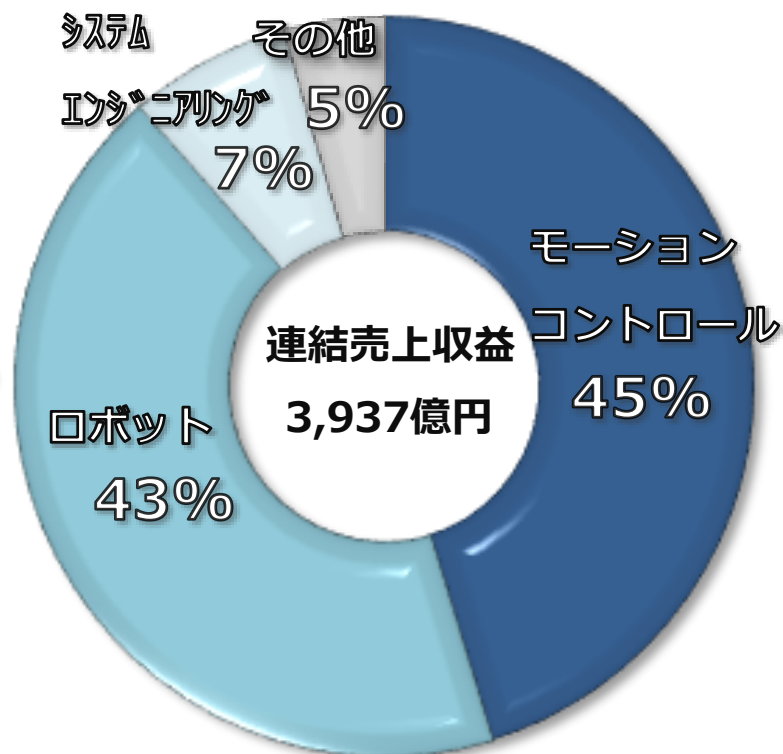


# 事業セグメント別売上収益構成比

## 2023年度 3-11月期



## 2024年度 3-11月期



## 所在地別売上収益

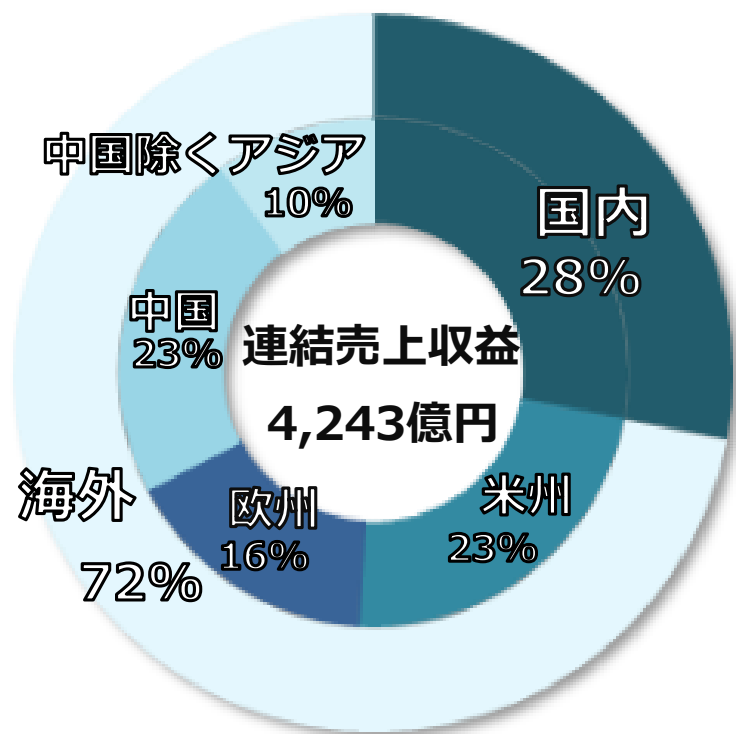
・中国除くアジア・米州は増収も、他の地域は減収

(単位：億円)	2024年度	2023年度	前年同期比	
	3-11月期 実績	3-11月期 実績	増減額	増減率
売上収益	3,937	4,243	▲306	▲7.2%
国内	1,076	1,187	▲111	▲9.4%
海外	2,861	3,056	▲195	▲6.4%
米州	977	977	+0	+0.0%
欧州	543	693	▲150	▲21.7%
中国	855	959	▲104	▲10.8%
中国除くアジア	486	427	+59	+13.8%

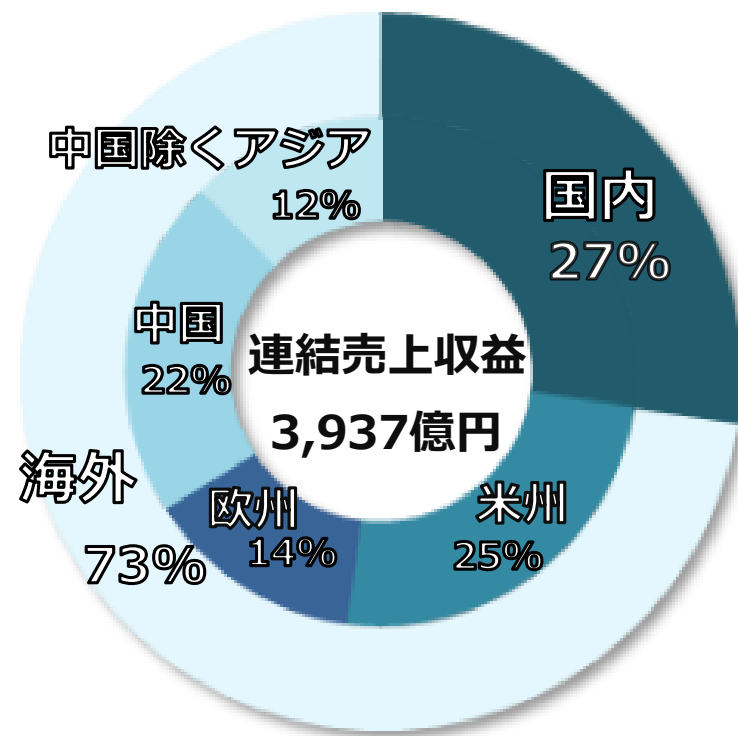
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

# 所在地別売上収益構成比

## 2023年度 3-11月期



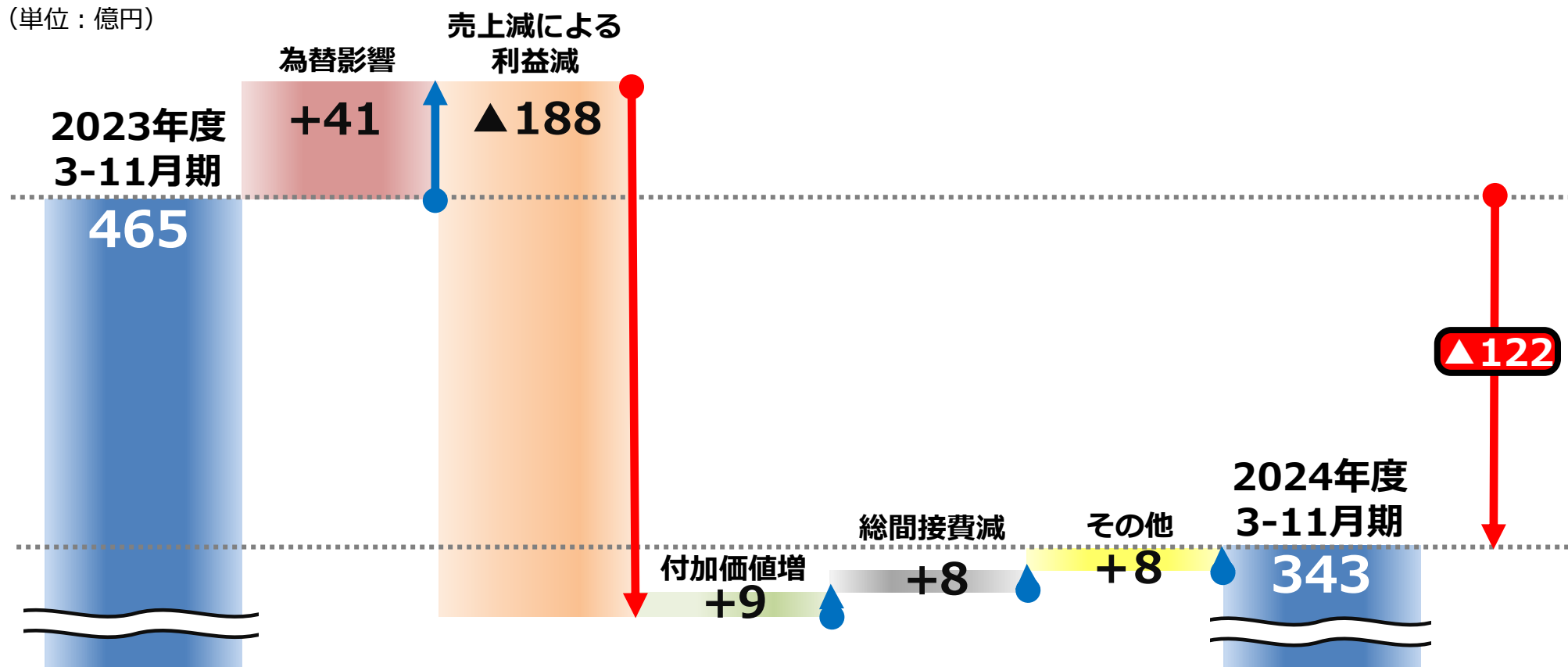
## 2024年度 3-11月期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

# 営業利益増減要因分析（2023年度 3-11月期 → 2024年度 3-11月期）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 17	▲ 181	+ 16	+ 24	▲ 1
ロボット	+ 24	▲ 24	▲ 10	▲ 14	+ 0
システムエンジニアリング	+ 0	+ 23	▲ 5	▲ 3	▲ 1
その他	+ 0	▲ 5	+ 8	+ 1	+ 10

## 2024年度3Qの取組み(1)

### “i<sup>3</sup>-Mechatronics”ソリューションによる価値創出 開発力の強化

- NVIDIA AI Summit Japan(2024年11月)において「MOTOMAN NEXT」のデモ機を展示しAIを活用した高速ピック&プレイスを訴求



NVIDIA AI Summit Japanにて  
展示したMOTOMAN NEXTのデモ機

### 生産力の強化

- 安川オートメーション・ドライブ(システムエンジニアリング事業 子会社)がグリーンアジア国際戦略総合特区\*<sup>1</sup>の法人に指定
- システムエンジニアリング事業の強化を目的とした福岡県・南行橋事業所新設の起工式を実施



南行橋事業所  
完成イメージ図

### 販売力の強化

- EV車体への大容量バッテリー組み付けに対応した業界初の1t可搬スカラロボット「MOTOMAN-ME1000」を販売開始。省エネ性に優れた製品として2024年度省エネ大賞\*<sup>2</sup>を受賞



1t可搬スカラロボット  
「MOTOMAN-ME1000」

\*1 国から指定を受けた「国際戦略総合特区」の一つで、福岡県と北九州市、福岡市が共同で推進するもの。

安川オートメーション・ドライブは今後一定の条件を満たす製品開発を行った場合において、税制上の特例措置を受けることが可能となる。

\*2 一般財団法人省エネルギーセンターが国内の企業・自治体・教育機関等の優れた省エネ推進事例や、省エネ性に優れた製品、ビジネスモデルを選定し、年に1度表彰。

## 2024年度3Qの取組み(2)

### 販売力の強化

- 自動車車体の軽量化を実現する摩擦攪拌接合に適用可能なロボット「MOTOMAN-GG250」を販売開始
- セットアップや試運転時間の短縮とスムーズな加減速による乗り心地向上を実現したエレベーター専用インバータ「LA700」を販売開始
- YRMコントローラ「YRM1010」が製造現場における作業効率や生産性向上に貢献する製品として「第21回/2024年超モノづくり部品大賞」奨励賞を受賞



摩擦攪拌接合に  
適用可能なロボット  
「MOTOMAN-GG250」



エレベーター専用  
インバータ「LA700」



YRMコントローラ「YRM1010」

### デジタル経営の推進

- 当社製品の稼働状況から適切なタイミングで設備の更新・メンテナンスをプロアクティブにお客さまへ提案するサービス活動を強化



## 2. 2024年度 通期 連結業績見通し

## 2024年度 通期 見通し

・韓国における半導体関連の設備投資の調整影響や、米国大統領選挙に伴う設備投資の一時的な様子見の動きにより、受注が想定を下回ったことから通期見通し(2024年10月4日公表)を下方に修正

	2024年度 見通し	2023年度 実績	前年同期比		2024年度 前回見通し <sup>※</sup>
			増減額	増減率	
売上収益	5,480億円	5,757億円	▲277億円	▲4.8%	5,530億円
営業利益	580億円	662億円	▲82億円	▲12.4%	640億円
税引前利益	875億円	691億円	+184億円	+26.7%	898億円
親会社株主に帰属する 当期利益	630億円	507億円	+123億円	+24.3%	640億円

※2024年10月4日 FY24 2Q決算発表時

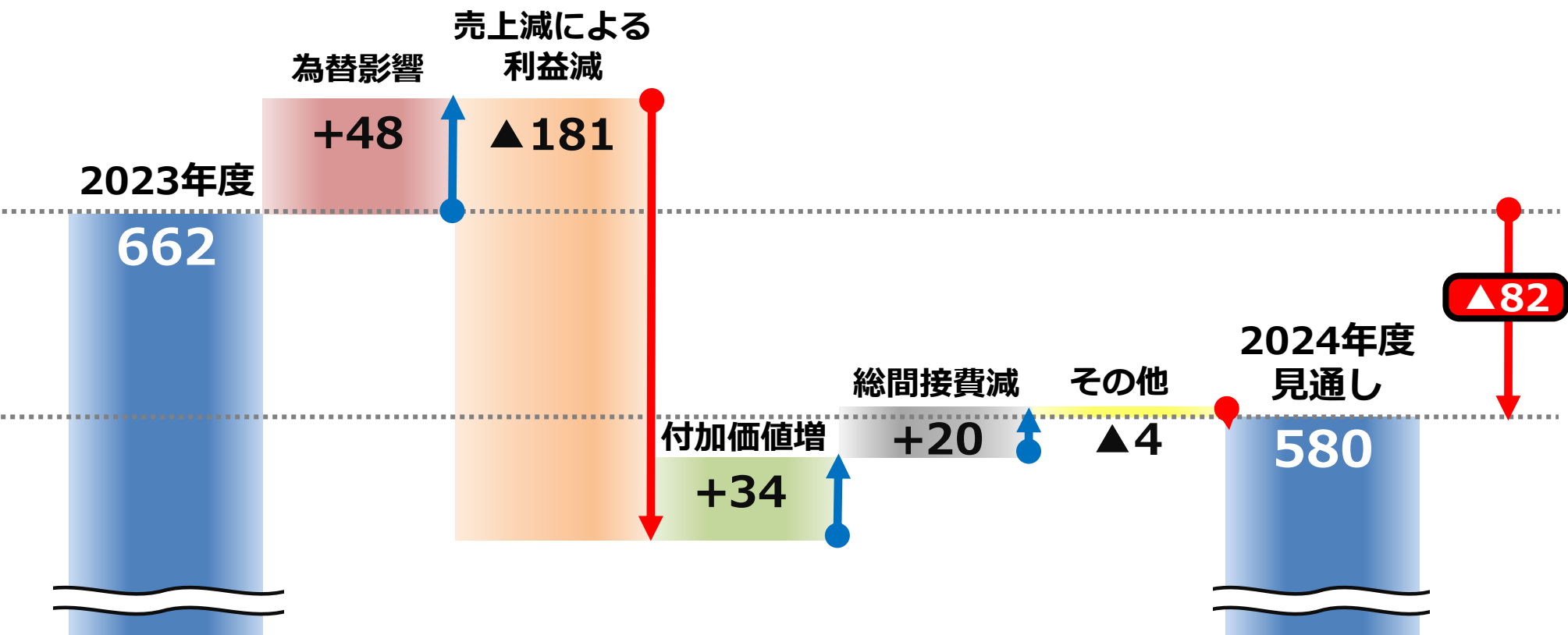
# 2024年度 通期 見通し (セグメント別)

(単位：億円)	2024年度		2023年度		前年同期比		2024年度	
	見通し	利益率	実績	利益率	増減額	増減率	前回見通し※	利益率
<b>売上収益</b>	5,480	/	5,757	/	▲277	▲4.8%	5,530	/
<b>モーションコントロール</b>	2,479	/	2,694	/	▲215	▲8.0%	2,492	/
<b>ロボット</b>	2,380	/	2,347	/	+33	+1.4%	2,405	/
<b>システムエンジニアリング</b>	386	/	461	/	▲75	▲16.2%	385	/
<b>その他</b>	235	/	255	/	▲20	▲7.8%	248	/
<b>営業利益</b>	580	10.6%	662	11.5%	▲82	▲12.4%	640	11.6%
<b>モーションコントロール</b>	291	11.8%	390	14.5%	▲98	▲25.3%	317	12.7%
<b>ロボット</b>	259	10.9%	251	10.7%	+8	+3.1%	291	12.1%
<b>システムエンジニアリング</b>	46	11.9%	49	10.5%	▲3	▲5.2%	44	11.5%
<b>その他</b>	17	7.4%	4	1.6%	+13	+317.5%	19	7.7%
<b>消去または全社</b>	▲34	-	▲32	-	▲2	-	▲32	-

※ 2024年10月4日 FY24 2Q決算発表時

# 営業利益増減要因分析（2023年度 → 2024年度見通し）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 20	▲ 172	+ 23	+ 35	▲ 4
ロボット	+ 27	▲ 17	+ 4	▲ 11	+ 5
システムエンジニアリング	+ 0	+ 15	▲ 2	▲ 1	▲ 15
その他	+ 0	▲ 6	+ 10	▲ 3	+ 10

## 3. 参考資料

## セグメント区分変更による組替表示（2023年度実績）

- 2024年度より従来システムエンジニアリング事業に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナ関連の情報を、モーションコントロール事業に移行する**セグメント区分の見直し**を実施
- 2024年度・2023年度の数値は、セグメント変更後の情報にて表示

	2023年度（セグメント変更後）							変更 影響額 (通期)	
	(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		通期
<b>売上高</b>		1,425	1,465	<b>2,890</b>	1,354	1,513	<b>2,867</b>	<b>5,757</b>	-
モーションコントロール		716	691	<b>1,408</b>	638	649	<b>1,287</b>	<b>2,694</b>	<b>+94</b>
ロボット		528	596	<b>1,124</b>	546	677	<b>1,223</b>	<b>2,347</b>	-
システムエンジニアリング		123	108	<b>231</b>	107	123	<b>230</b>	<b>461</b>	<b>▲94</b>
その他		58	70	<b>128</b>	63	63	<b>127</b>	<b>255</b>	-
<b>営業利益</b>		164	166	<b>331</b>	135	197	<b>332</b>	<b>662</b>	-
モーションコントロール		98	104	<b>202</b>	84	104	<b>188</b>	<b>390</b>	<b>+8</b>
ロボット		62	68	<b>130</b>	56	66	<b>122</b>	<b>251</b>	-
システムエンジニアリング		10	4	<b>14</b>	2	33	<b>35</b>	<b>49</b>	<b>▲8</b>
その他		▲0	0	<b>0</b>	1	3	<b>4</b>	<b>4</b>	-
消去または全社		▲6	▲10	<b>▲15</b>	▲7	▲9	<b>▲16</b>	<b>▲32</b>	-

# 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度

## 設備投資・研究開発費の状況

(単位: 億円)

	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (計画)
設備投資額	276.1	378.6	450.0
減価償却費	196.7	208.0	220.0
研究開発投資	187.8	212.5	240.0

## 為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位: 円)

	2022年度 (実績)				2023年度 (実績)				2024年度 (想定)			
	3-11	4Q	下期	通期	3-11	4Q	下期	通期	3-11	4Q	下期	通期
対 米ドル	134.5	132.9	138.6	134.1	142.1	146.7	147.9	143.2	152.2	155.0	152.1	152.9
対 ユーロ	139.1	142.0	143.0	139.8	153.7	159.4	159.3	155.1	165.1	160.0	161.0	163.8
対 元	19.80	19.33	19.77	19.68	19.89	20.42	20.44	20.02	21.12	21.50	21.20	21.22
対 ウォン	0.103	0.105	0.104	0.103	0.108	0.111	0.112	0.109	0.112	0.110	0.110	0.111

## 為替感応度

(単位: 億円)

	1%変動による影響額目安 (2024年度_通期)	
	売上収益	営業利益
米ドル	13.9	2.3
ユーロ	7.5	1.1
元	11.4	2.8
ウォン	3.6	1.7

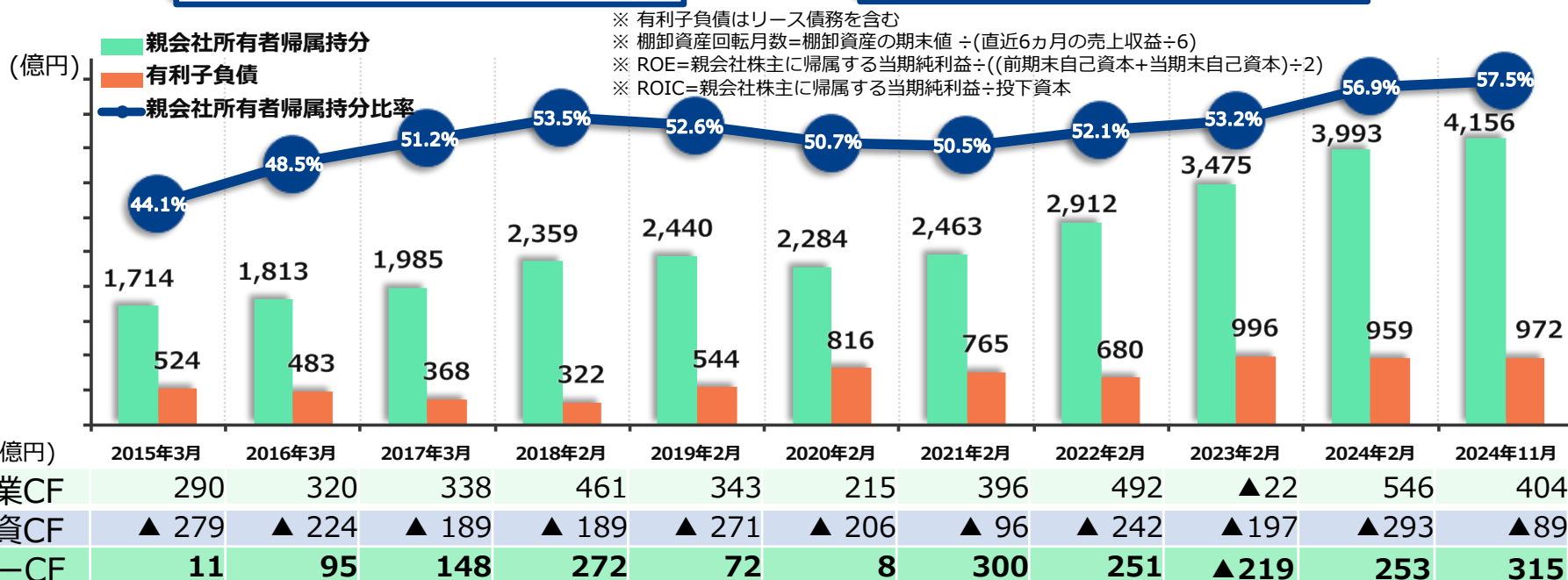
# B/S構造の推移

## 2024年2月29日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 56.9%
- 親会社所有者帰属持分 3,993億円
- 有利子負債 959億円  
(現金及び現金同等物) 403億円
- D/Eレシオ 0.24  
(ネットD/Eレシオ) 0.14
- 棚卸資産 2,079億円  
(回転月数) (4.4ヶ月)
- ROE 13.6%
- ROIC 11.8%

## 2024年11月30日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 57.5%
- 親会社所有者帰属持分 4,156億円
- 有利子負債 972億円  
(現金及び現金同等物) 436億円
- D/Eレシオ 0.23  
(ネットD/Eレシオ) 0.13
- 棚卸資産 2,166億円  
(回転月数) (5.0ヶ月)

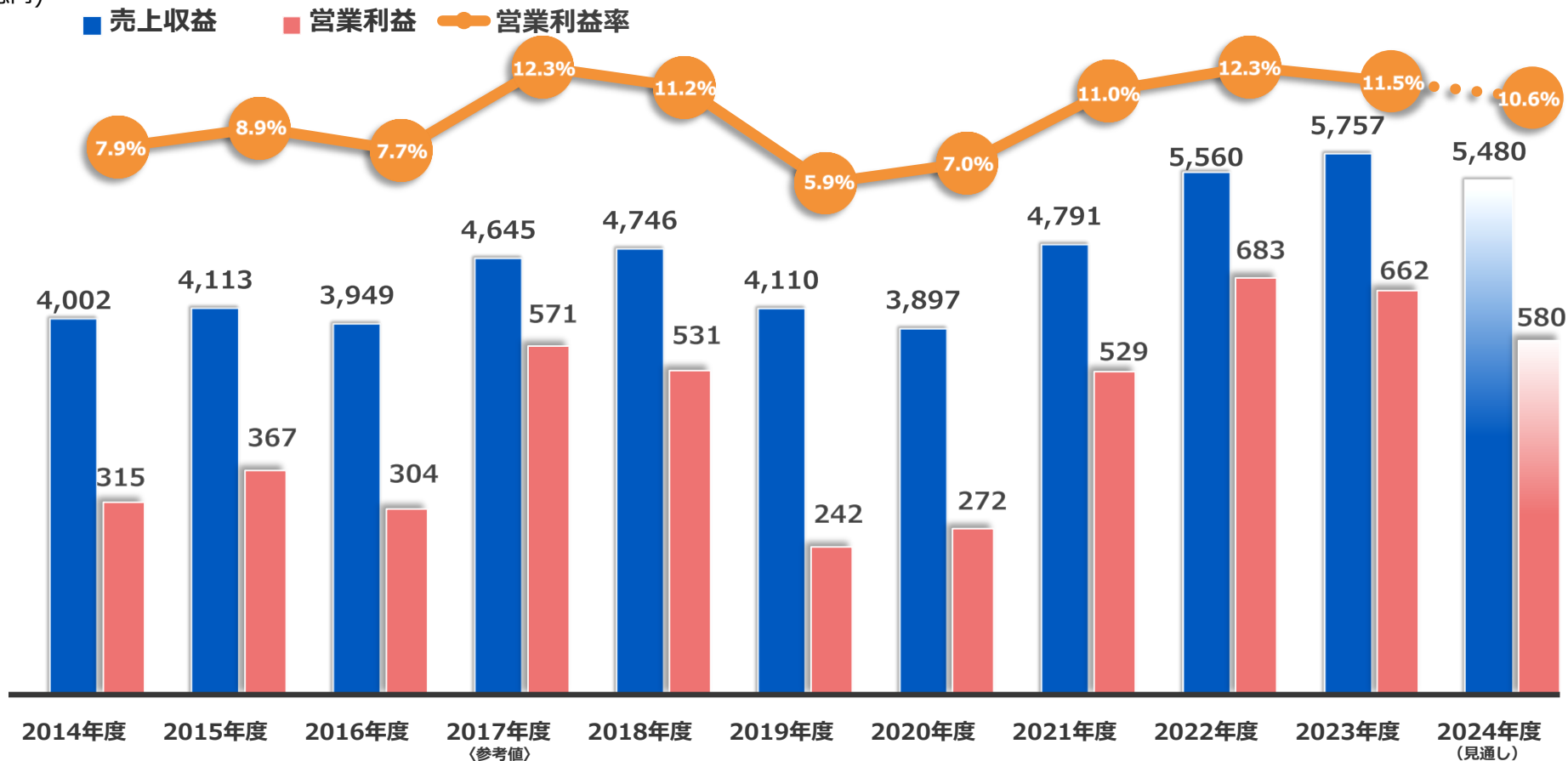


[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載



# 売上収益・営業利益推移（2014年度～2024年度見通し）

(億円)



Realize 100
Dash 25
Challenge 25 Plus
Realize 25

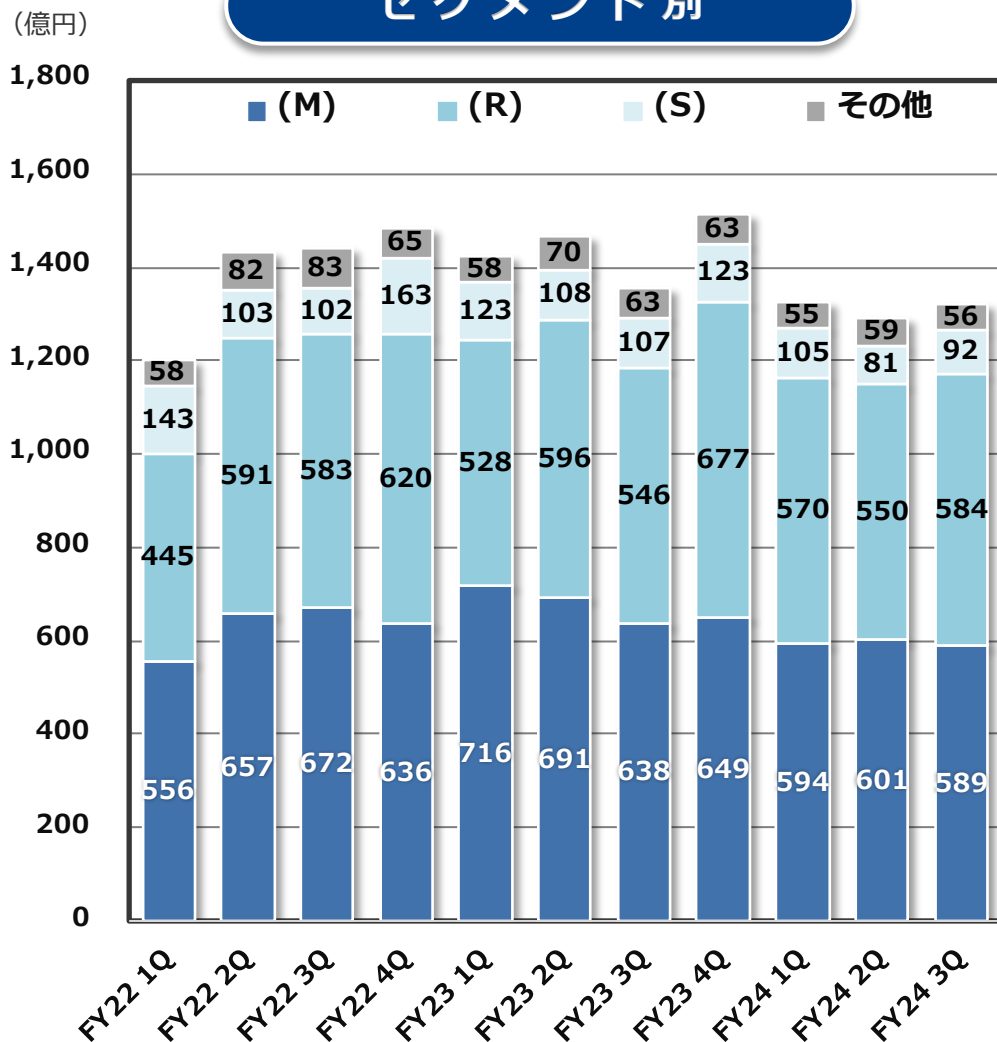
**中期経営計画**

[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載

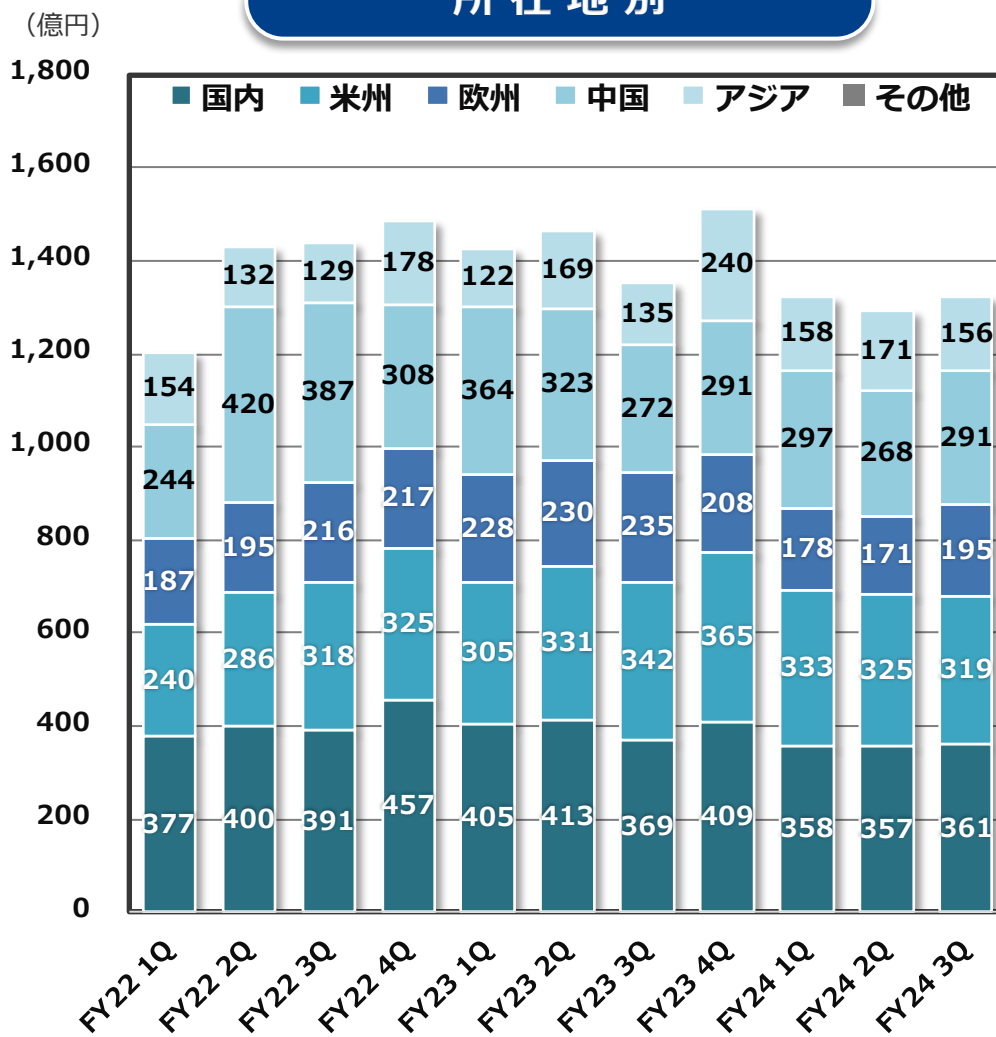
[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

# 四半期売上収益推移

## セグメント別



## 所在地別



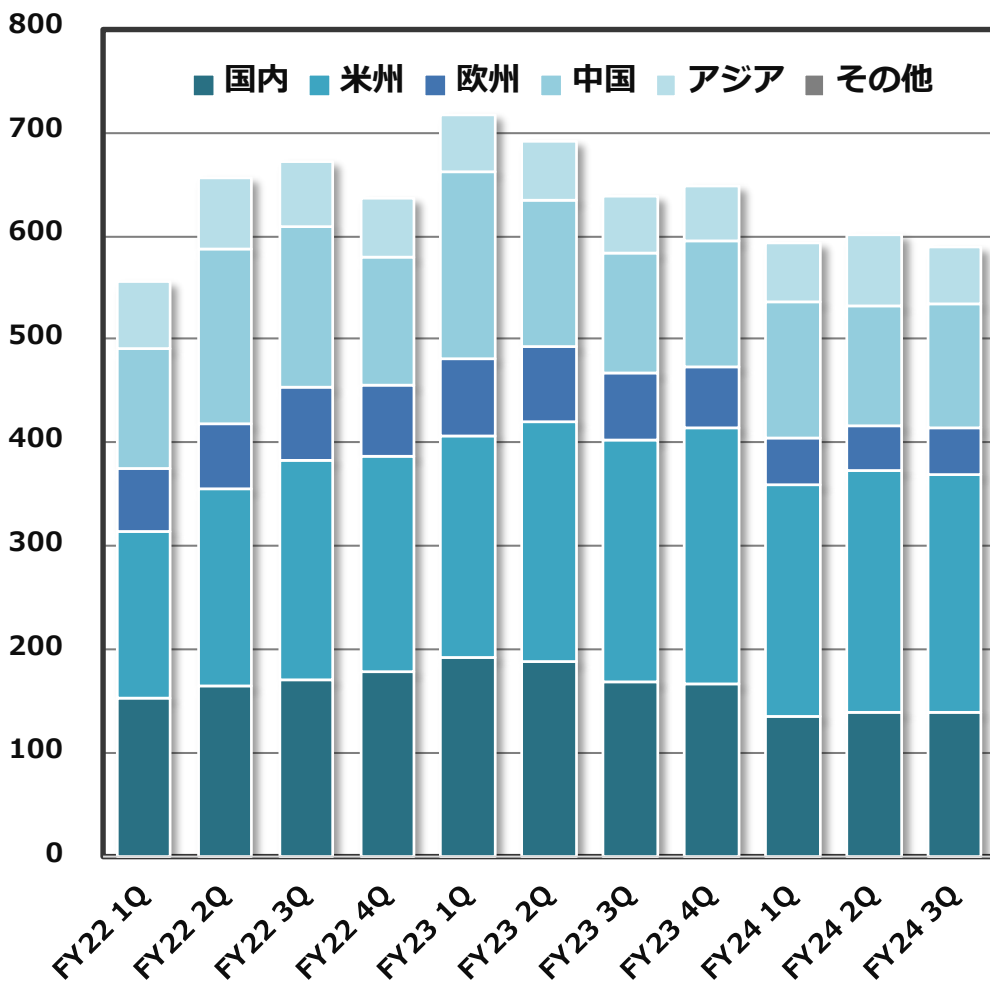
[注. 1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注. 2] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期売上収益推移

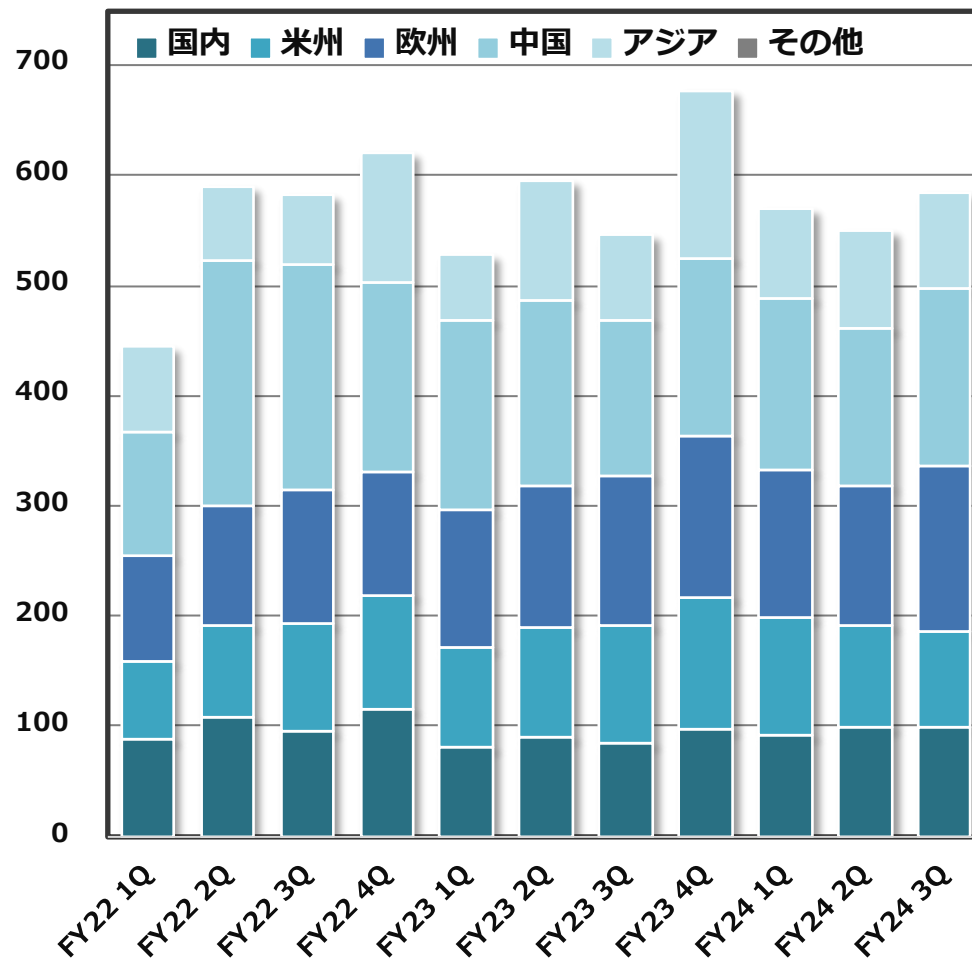
## モーションコントロール

(億円)



## ロボット

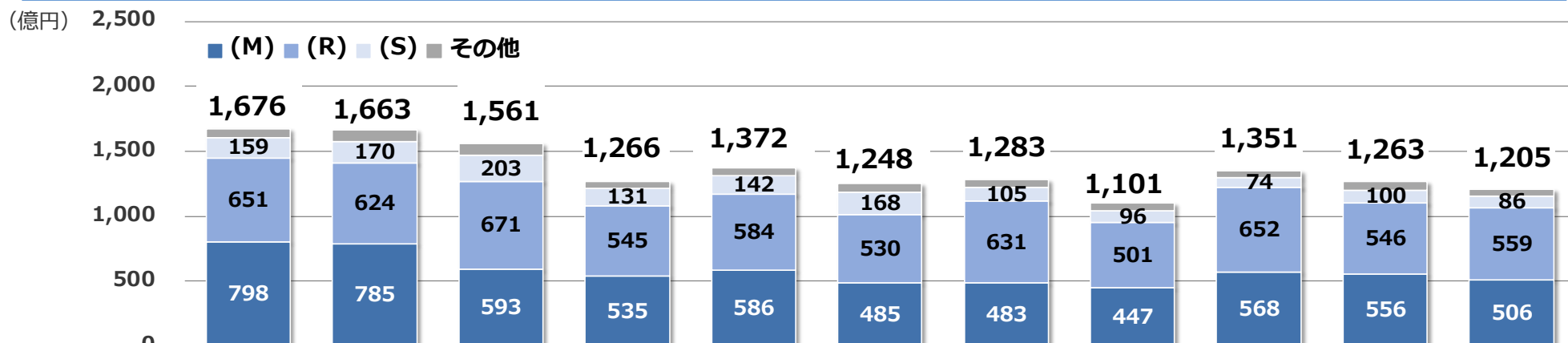
(億円)



[注] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期受注推移 (セグメント別)

※為替は期中平均レートを使用



会社	YoY	FY2022				FY2023				FY2024		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
全社	YoY	+21%	+21%	+9%	▲17%	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%	▲6%
	QoQ	+10%	▲1%	▲6%	▲19%	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%	▲5%

YoY	(M)	+7%	+10%	▲21%	▲28%	▲27%	▲38%	▲19%	▲16%	▲3%	+15%	+5%
	(R)	+33%	+34%	+42%	▲9%	▲10%	▲15%	▲6%	▲8%	+12%	+3%	▲11%
	(S)	+48%	+18%	+32%	▲1%	▲11%	▲1%	▲48%	▲27%	▲48%	▲40%	▲18%

QoQ	(M)	+7%	▲2%	▲24%	▲10%	+9%	▲17%	▲0%	▲7%	+27%	▲2%	▲9%
	(R)	+9%	▲4%	+8%	▲19%	+7%	▲9%	+19%	▲21%	+30%	▲16%	+2%
	(S)	+20%	+7%	+19%	▲35%	+8%	+19%	▲37%	▲9%	▲23%	+36%	▲14%

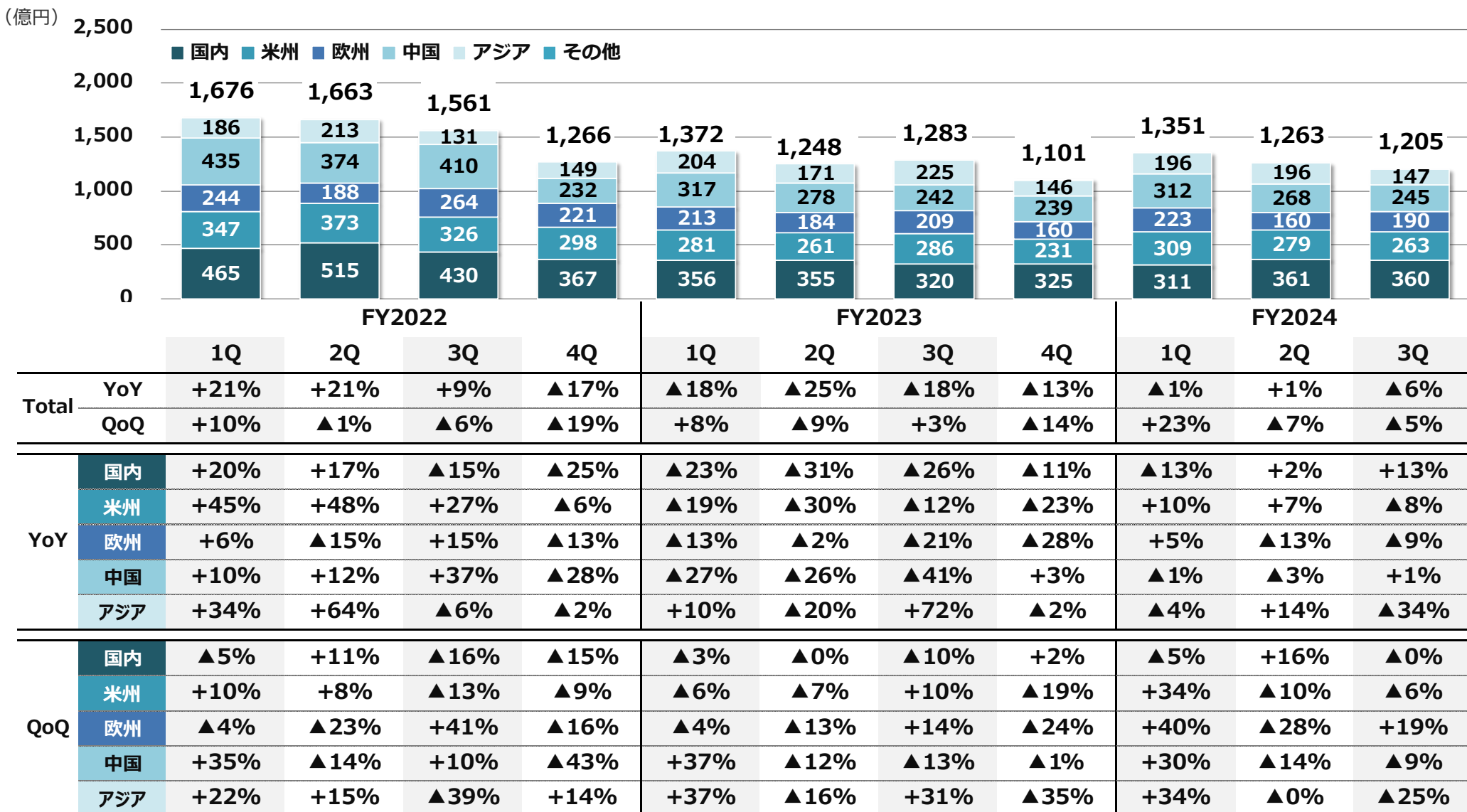
為替レート	円/ドル	124.2	135.3	144.3	132.9	134.9	142.5	149.1	146.7	153.2	154.1	149.1
	円/ユーロ	134.3	139.3	143.9	142.0	146.1	155.7	159.3	159.4	165.5	167.6	162.1

[注. 1] 表記: (M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注. 2] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

# 四半期受注推移（所在地別）

※為替は期中平均レートを使用



[注] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

**YASKAWA**